関大通信 第290号
平成13年（2001年）5月14日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/

矢井田瞳さん 新たなる旅立ち

３月19日、文学部特別表彰を授賞

クローズアップ関大人

３月19日、矢井田瞳さんが本学文学部を卒業した。矢井田さんは、大学入学後に作詞・作曲を始め、昨年７月歌手としてデビュー。昨秋発売のアルバム『daiya-monde』は70万枚以上のヒットとなった。卒業式終了後、こうした功績に対して、文学部から特別表彰を受けた。今後のますますの活躍が期待される。

矢井田さんがどのような学生生活を送っていたのか、ゼミ担任の奥純教授と同級生から寄稿してもらった。

「My sweet darlin'」

奥　純

矢井田さんほど大阪人らしい人に会ったことがない。有名になっても、威張らず飾らず気取らず、皆で楽しくやっていて、電話をかけるといつも陽気な声が返ってきた。「ヤイコでぇーす！」

卒論執筆には、デスクトップを遊園地のような雰囲気に作り直した、思いきり派出なオレンジ色のノートパソコンを使っていた。それを見てあきれ顔の私に、彼女は尋ねた。「ねっ、ヤイコらしい？」「うん！」

卒論のテーマは、カミュの『ペスト』だった。一人の医師が皆と一緒にペストと戦う物語だが、そんな中でただ一人、執筆中の小説の推敲に余念のないコタールという人物が登場し、彼女はそのコタールを積極的に評価していた。そこで、それは彼女自身がソングライターをしているからなのかと尋ねたら、彼女は答えた。「コタールは、人を救うという意味で、医師と同じ仕事をしていると思うんです」。そう言い切った笑顔がとても素敵だった。

卒業式では、彼女から声をかけてくれた。「先生、また電話するわ、皆で飲も！」うん、飲もやないか、電話待ってるぞ。（文学部教授）

「一期一会」

吉村公見

彼女としたこと――
歌う、踊る、笑う、泣く、話す、食べる、飲む、バレー、バトミントン、卓球、散髪、そして互いを知ること、認めるということ、愛すること。
彼女がくれたもの――
鞄、パンツ、セーター、コート、ブレスレット、デモテープ、手紙、そして愛と勇気のオブジェ。
優しくて強い女の子。
人として、自分としての目標に全身で立ち向かう女の子。よく食べ、よく飲み、よく笑い、よく泣き、よく学ぶ女の子。
「人間くさい歌が好き」な女の子。
（平成13年３月文学部卒）

「よき出逢いを」

長澤　功雄

なんか幸せそうだ。
大根のかつらむきがうまくできたと無邪気に喜ぶ。喫茶店で流れる音楽をきいて「この歌、好きやねん」と歌いはじめる。頭のなかでまたどこか遠くへ遊びにいっているのだろうか、一人で笑っている。
やいこのしあわせはいつもやいこのココロできまっている。だから、これからもしあわせでいるだろう。人間くささが大好きな彼女は、一生感動、一生燃焼していくのだろう。いつしか言っていたかわいいおばあちゃんになるまで。
（平成13年３月文学部卒）

「約束のない関係」

西村可奈子

私の朝はヤイコの声で始まることが多かった。「もしもし可奈子？　今、関前。早く来てぇ!。お互いが江坂でバイトのある時も同様で、「関前」が「江坂」に変わるだけだ。なぜかヤイコはいつも目的地についてから連絡し、私は寝ている。そして私は遅れること30分以上。息を切らせて到着する。お互い応用を利かせ、ヤイコが30分早く連絡し、私が30分早く起きればよいのだが、この生活は４年間続いた。ヤイコとのこんな関係が私は大好きである。
（平成13年３月文学部卒）

KUカレンダー

５月
- 17日（木）◇院・博士前期学内進学試験（筆記＝文・社）
- ◇情・日本育英会（第一種・第二種）奨学生受領資格確認（18日まで、きぼう21プラン奨学生を除く）
- 18日（金）◇院・博士前期学内進学試験（筆記、口頭＝商）
- ◇教員志望者相談室開設日
- 19日（土）◇情・在学生父母キャンパス見学会（高槻キャンパス）
- 20日（日）◇教育後援会総会・学部別教育懇談会
- 21日（月）◇院・博士前期学内進学試験（口頭＝法・経）
- 22日（火）◇院・博士前期学内進学試験（口頭＝文・社）
- 23日（水）◇日本育英会（第一種・第二種）奨学生受領資格確認（情以外の全学部、25日まで、きぼう21プラン奨学生を除く）
- 26日（土）◇院・博士前期学内進学試験（筆記、口頭＝情）
- 27日（日）◇高槻キャンパス祭
- 29日（火）◇夏期英語・中国語・ドイツ語語学セミナー申し込み締切
- 30日（水）◇院・博士前期学内進学試験（筆記＝工）

６月
- ４日（月）◇院・博士前期学内進学試験（口頭＝工）
- ◇経政研産業セミナー（13:10阪急グランドビル）「ヨーロッパ統合とユーロ」経・楠貞義教授「アメリカ企業合同運動100年の歩み」商・井上昭一教授
- ５日（火）◇大学昇格記念日
- 12日（火）◇文・就職セミナー（13：00　第１学舎ＡＶ－Ｂ教室）「働くこと生きること」読売新聞大阪本社論説委員・永井芳和氏
- 13日（水）◇経政研公開講座（13：00　尚文館生涯学習講義室）「インターネットの有害情報」法・園田寿教授

次号は６月15日発行の予定です

高槻の窓

高槻キャンパス祭 5月27日に開催

毎年五月に実施している「高槻キャンパス祭」を本年も五月二十七日（日）午前十時から午後五時まで開催する。

今回で八回目となる本行事は、「市民の一日大学」として定着し、主に地域住民の方々に学部の教育環境等を知っていただくことを目的に学舎棟やグラウンドを開放しているもので、本年も幅広い年齢層の方々に楽しんでもらえるような多様なプログラムを準備している。

また、管理・研究棟前モニュメント広場周辺では、総合情報学部生のゼミやサークルによる模擬店、総合情報学部祭典実行委員会のステージ企画、応援団の演舞・演奏、フリーマーケット等が予定されており、同学部生ばかりか千里山キャンパスの学生も数多く参加されることを期待している。

学舎棟内では、ＩＴ時代の到来で話題になっているインターネットを体験してもらう「インターネットコーナー」や「スタジオ体験コーナー」等の独自の企画が用意されている。受験生には「入試相談コーナー」も準備されており、この機会に総合情報学部をより直接的に理解してもらうためにも是非参加していただきたい。

他にも高槻キャンパス全域を使い、多くの企画が予定されている。是非、この機会に足を運んで「もうひとつの関西大学」＝高槻キャンパスを満喫していただきたい。

第24回総合関関戦の日程

今大会で二十四回を数える恒例の総合関関戦が、六月二十一日（木）から二十三日（土）の三日間にわたり、関西学院大学上ケ原キャンパスを中心に開催される。昨年は敗れているだけに今年こそは雪辱に燃え、前哨戦を含む三十七種目に臨む（通算成績は本学の十三勝十敗）。

また、一般市民・学生等の多数が参加して行われる「大島鎌吉記念健康マラソン大会」は、二十三日（土）十一時にスタートする。

前夜祭は九日（土）【雨天時は十日】天保山ハーバービレッジイベント広場にて行われる。（学生部）

	時間	種目	場所
6月21日（木）	10：00	馬術	馬場
	12：30	開会式	メイングラウンド
	13：30	硬式野球	メイングラウンド
	14：20	ハンドボール（男子）	体育館大フロア
	15：00	柔道	柔道場
	〃	陸上ホッケー	サッカー場
6月22日（金）	8：00	ゴルフ	千刈カンツリークラブ
	9：00	弓道（女子・新人）	弓道場
	10：00	テニス	硬式テニス場
	11：15	ラクロスクラブ（女子）	サッカー場
	12：10	関関戦ソフトボール大会	メイングラウンド
	13：00	バドミントン	体育館小フロア
	13：10	合気道（演武）	合気道場
	13：30	ラクロスクラブ（男子）	サッカー場
	〃	卓球	体育館卓球場
	13：45	バスケットボール（男子）	体育館大フロア
	15：00	ラグビー	メイングラウンド
	15：15	バスケットボール（女子）	体育館大フロア
6月23日（土）	9：00	拳法	体育館小フロア
	10：00	ハンドボール（女子）	体育館大フロア
	〃	アーチェリー	洋弓場
	〃	古武道（演武）	合気道場
	10：30	射撃	射撃場
	〃	ボート	神崎川
	11：00	水上競技	体育館プール
	〃	少林寺拳法（演武）	拳法部道場
	〃	健康マラソン大会	関学周辺
	〃	剣道	体育館小フロア
	12：00	軟式野球	メイングラウンド
	〃	フェンシング	体育館114体操場
	13：00	弓道（男子）	弓道場
	〃	相撲	相撲場
	〃	アメリカンフットボール	西宮競技場
	14：30	レスリング	体育館レスリング場
	14：45	バレーボール	体育館大フロア
	15：30	空手道	体育館小フロア
	17：30	閉会式	メイングラウンド

飛躍

Ⅱ部準硬式野球部 春・秋５連覇達成

三月十八日（日）～四月二十二日（日）まで行われた平成十三年度関西Ⅱ部六大学準硬式野球春季リーグ戦において、Ⅱ部準硬式野球部が春・秋のリーグ戦を通じ五連覇の偉業を達成した。

部員数が十二名と少ない中、本来のエースが出場できず、普段は外野手で四番の**水野将照**（２法四）が代役を務めざるをえなくなった。そこに、主力の**山村圭治**（２法四）のケガによる開幕戦離脱も重なった。

天王山の大阪工業大学Ⅱ部戦。七回まで一点差で負けていたが**松添茂季**（２法二）が執念のタイムリーヒットを放つ。その後、「このリーグ戦を優勝しないと先輩達が引退してしまうので、それだけは阻止したかった」と下級生が意地を見せ、逆転で勝利を収めた。

「松添の一振りを機に、皆が一丸となり各々の役割を果そうと良い意味で開き直りが生まれました」。外野手の**肥田浩一**（２法四）は語る。皆で作ったＴシャツには腕の部分に赤字で「日本一」の刺繍が縫い付けてある。悲願達成に向け、Ⅱ部準硬式野球部はまだまだ走り始めたばかりである。

アルミ缶集めチャリティー実施

四月十二日（木）～二十三日（土）の間、本学の文化活動の担い手である文化会各部が、年に一度、活動の集大成を発表する「文化フェスティバル２００１」を特別講堂他で実施した。

毎年、音楽系団体による合同演奏会など様々な行事を実施しているが、本年は生協食堂ほか学内十六カ所に手作りのゴミ箱を設置し回収したアルミ缶をお金に替えた上で寄付するチャリティー活動を新たに行い、全額（計二十１㎏分）が日本赤十字社に寄付された。（学生部）

◇**アイスホッケー部**　第四十九回関西学生氷上競技選手権大会（三月二十～二十三日）第三位

◇**水泳部**　第七十七回日本選手権兼世界選手権東アジア大会選考会　**山田沙知子**（文・二）八百ｍ自由型　優勝・四百ｍ自由型　優勝・二百ｍ自由型　三位（学生部）

今月の表紙

田中　充（たなか・みつる）**教授**　専門は工業経済学。主要な研究領域は中小企業論、中小零細企業の存在意義、その存続・発展の条件に関する多数の著書・論文・研究調査報告等を世に問うておられる。スイス国際中小企業学会の常連メンバー。

▶編集後記◀

矢井田瞳さんの場合、「文歌両道」というのだろうか。彼女が歌を作り始めたのは十九歳の時だという。大学在学中に自分の新たな才能を発見し、それを磨きあげていったのである。

自分が何者であり、何をしたいのか。答を見つけるのはなかなか難しい。だが、さまざまな人が集い、自由闊達な雰囲気のある関西大学は、自分発見のための環境として恵まれているのかもしれない。

本号は、現役学生だけでなく、教育後援会総会に出席するために来学されたご父母にも、本学の就職状況と就職支援体制についての情報をお届けすることに重点をおいた。仕事には「食い扶持」「生きがい」の両側面がある。両者の兼ね合いをどのように考えるべきか。親子対話のきっかけになれば幸いである。

（小川博司）